

1. 【新政会】 尾島 武弘（45分）		
質 疑 事 項	質 疑 要 旨	備考
1.はじめについて	<ul style="list-style-type: none"> ① 本市の経常的な経費における今後の財政見通しは、歳入面で地方交付税や固定資産税が増加すると見通しを示しているが、今後何年間、どれくらいの増加を見込んでいるのか伺う。 ② 歳出面で賃上げなどにより物件費や扶助費、人件費などが増加する見込みで、結果として、歳入が歳出における行政需要に見合う額までの増加とはならず、本市においては財政の硬直化が大きく進むと予想しているが、具体的な解決策を伺う。 ③ 「臨時行財政運営方針」に掲げる基本方針を念頭に、経営感覚を持った行政運営及び組織改革、健全な財政運営を進めるとしているが、具体的な対策を伺う。 	
2. 災害に強く、安心して暮らせるまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和8年度も大雨被害を受けた道路橋梁や河川、農業用施設、文化財、市営住宅などの復旧に引き続き最優先で取り組んでいくとしているが、復旧完了までのスケジュールを伺う。 ② 災害被害から市民の生命と暮らしを守っていくためには、防災対策を進めていくことも重要としているが、財源には限りがある中で新たな防災対策をどのように実施していくのか伺う。 ③ 市民一人ひとりが自らを守る「自助」や、地域で支えあう「共助」の力を高める啓発活動をこれまで以上に推進していくとしているが、これまで以上とは具体的にどのように行っていくのか伺う。 ④ 令和8年度から順次、地区の防災計画を作成し、宮司地域から取り組み、郷づくりや 	

<p>3. 次世代を育む教育環境の整備について</p>	<p>自治会単位などで自助・共助の推進を図っていくとしているが具体的な内容を伺う。</p> <p>① 子どもたちが安心して学べる環境づくりに取り組むとしているが、具体的な施策を伺う。</p> <p>② 福間南小学校の特別教室の整備やトイレの改修、今後の生徒数の増に対応した津屋崎中学校の増改築などの整備に取り組むとしているが、福間中学校、福間小学校、津屋崎小学校についてはどのような対策を考えているのか伺う。</p> <p>③ 小中学校施設全体を対象とした長寿命化計画の策定を進めていくとしているが、早急に対応が必要とするものに対するの対策を伺う。</p>	
<p>4. 人も企業も「稼ぐ」まちづくりについて</p>	<p>① 持続可能な市政運営を進めていくためには、財政構造の弾力性を確保していく必要があるとしているが、財政構造の弾力性をどのように確保していくのか伺う。</p> <p>② 令和8年度は財源確保策として、ふるさと納税への更なる注力や企業版ふるさと納税の取り組みの拡充とあるが、新しい試みを考えているのか伺う。</p> <p>③ 収納対策の推進に取り組むとしているが、収納増加のための新たな対策を考えているのか伺う。</p> <p>④ 受益者負担の適正化に取り組むとしているが、市が負担する経費の年間削減見込み額及び削減できた経費の用途について伺う。</p> <p>⑤ 令和7年度中に作成予定の企業誘致方針に基づく取り組みを進めていくとしているが、企業誘致方針の内容について伺う。</p>	
<p>5. おわりにについて</p>	<p>① 今後数年は、昨夏の大雨災害からの復旧に資金と職員のマンパワーを要するとしているが、資金と職員をどのように活用していくの</p>	

<p>6. 予算編成方針について</p>	<p>か何う。</p> <p>② 公共施設の多くが長寿命化や更新などの措置が必要な時期が到来しているとあるが、資金面も含めどのように対応していくのか何う。</p> <p>③ 基金管理運用をめぐる課題によって今後の資金需要への対応の懸念もあるとしているが、今後どのように資金需要への対応をしていくのか何う。</p> <p>④ 市の人員、時間といった経営資源が厳しい状況にあるとしているが、具体的にどのように厳しいのか何う。</p> <p>⑤ 「臨時行財政運営方針」を策定し、市政にとって重要である3つを柱とした施策に、市の経営資源を集中し取り組んでいくとしているが、具体的施策について何う。</p> <p>⑥ 福祉や生活に密接に関わる市民サービスは確保するとともに、その他の分野においても、これまでの経過や現在の状況などを踏まえた上で、緊急性・重要性を考慮しつつ取り組みを進めるとしているが、緊急性・重要性をどのように判断していくのか何う。</p> <p>① 持続可能なまちづくりを目指すこととし、7つのテーマ別目標像を設定し、この目標像を施策の重要な柱と位置付け、予算を編成しているが、令和7年度と令和8年度で予算編成方針が大幅に変わった点を何う。</p> <p>② これまで取り組んできた行財政改革をさらに一歩前へ進めて、効率的な公共施設の管理や、未来への投資に対する選択と集中を図る必要があるとしているが、具体的施策を何う。</p> <p>③ 質の高い行政サービスを提供するため、経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)を効果的・効率的に活用して自律的な行政経営を推進するにあたり、施策の管理を行うとしているが、どのように実践していくのか何う。</p>	
----------------------	---	--

	<p>④ サービスの内容に対して受益者負担額が低いものや公有財産の減免、無償貸与についても見直しが必要としているが、どのような基準で見直すのか伺う。</p> <p>⑤ 広告収入や市有財産の貸付、売却をはじめ有形・無形の資産の有効活用などを推進し、また、クラウドファンディングや企業版ふるさと納税の活用等で、財源の確保に努めていくとしているが、具体的にどのように推進していくのか伺う。</p> <p>⑥ 補助金については、団体補助等の対象経費の明確化、運営費補助の原則廃止、公益性の明確化を念頭に必要性や事業内容の検証を行うとしているが、その検証のプロセスについて伺う。</p> <p>⑦ 国・県の補助制度に上乗せしている事業や効果の薄い少額負担金、謝金等の報償費についても、必要性及び妥当性を検証し、随時見直しを行うとしているが、見直しのプロセスについて伺う。</p> <p>⑧ 基金の管理運用において、現有する債券については、現時点では満期保有を原則としているが、将来満期前に売却する場合を想定しているのか伺う。</p>	
--	---	--

2. 【福津誠和会】 倉元 敏徳（45分）		
質 疑 事 項	質 疑 要 旨	
<p>1. 災害に強く、安心して暮らせるまちづくりについて</p>	<p>① 郷づくりや自治会単位などで自助、共助の推進を図っていくとあるが、具体的な計画を伺う。</p> <p>② 先の大雨災害を踏まえた今後の防災対策の在り方について検討していくとあるが、8月の大雨災害の対応や対策で、見直しをする事象があれば伺う。</p> <p>③ 令和7年度中に策定予定の雨水管理総合計画に基づく段階的対策計画の作成や防災重点農業用ため池の劣化状況調査など、これまで取り組んできた防災対策を継続していくとあるが、8月の大雨災害を踏まえて新たな取り組みなどの見直しはないのか伺う。</p> <p>④ 大雨災害からの着実な復旧を進めていくとあるが、全体の復旧率及び農業施設の復旧率について伺う。</p> <p>⑤ この取り組みの中に、防災無線について今後どのように対応していくかが示されていないが、防災無線は現状のまま運用していくのか伺う。</p>	
<p>2. 次世代を育む教育環境の整備について</p>	<p>① 子どもたちの学びの機会と教育環境を守ることは、市の未来を守ることとあるが、教育環境を守ることにつながる体育館の空調設備設置の計画について伺う。</p> <p>② 小中学校施設全体を対象とした長寿命化計画の策定を進めるとあるが、今までも小中学校施設の老朽化は問題になっていた。令和8年度中に全学校の長寿命化計画の策定が完了する見込みなのか伺う。</p> <p>③ 過大規模となっている学校施設の環境改善策として、福間南小学校の特別教室の整</p>	

<p>3. 人も企業も行政も「稼ぐ」まちづくりについて</p>	<p>備やトイレの改修、生徒数の増に対応した津屋崎中学校の増改築などの整備に取り組むとあるが、福間南小学校の特別教室の整備とトイレの改修内容及び津屋崎中学校の増改築の内容について伺う。</p> <p>① 令和7年度中に作成予定の企業誘致方針に基づく取り組みを進めるとある。すでに企業誘致方針はほぼ作成済みと思うが、企業誘致の規模と場所、誘致の方法を伺う。</p> <p>② 市が自ら調達できる様々な財源確保策に取り組むとあるが、様々な財源とはどのようなものを見込んでいるのか伺う。</p> <p>③ ふるさと納税への更なる注力、企業版ふるさと納税の取り組みの拡充とあるが、返礼品の候補となる高収益作物の収穫が軌道に乗るのは、数年先になると予想されており、それまでどのように拡充に取り組むのか伺う。また、企業版ふるさと納税の担当について伺う。</p>	
---------------------------------	--	--

3. 【ミモザの会】 豆田 優子（30分）		
質 疑 事 項	質 疑 要 旨	備 考
1. はじめにについて	「臨時行財政運営方針」に基づいた市政運営の初年度であるが、そもそも強固な財政基盤の確立を図るとともに、活用可能な財源を確保し、今後の行政需要に的確に対応するために策定した「臨時行財政運営方針」の周知について伺う。	
2. 災害に強く、安心して暮らせるまちづくりについて	<p>① 大雨災害では様々な箇所で大被害が出た。市民である農業従事者の受けた被害も甚大なものがあるが、農地への支援は限られている。そもそも「農業」をどうとらえて、今後の災害復旧や防災対策を進めていくのか。</p> <p>② 「自助」の力を高める啓発活動の現状と今後について伺う</p> <p>③ 「共助」の力を高める啓発活動の現状と今後について伺う</p> <p>④ 「公助」の取り組みの現状と今後について伺う</p>	
3. 次世代を育む教育環境の整備について	<p>① 子どもたちの学びの機会と教育環境を守ることは、市の未来を守ることにつながる。では、市長が考える次世代を育む教育環境とはどのようなものか。</p> <p>② 小中学校施設全体を対象とした長寿命化計画の策定を進めるとあるが、その進め方及び策定終了時期について伺う。</p>	
4. 人も企業も行政も「稼ぐ」まちづくりについて	「稼ぐ」としているこの柱には、地域商社「福津いいざい」の記述が見当たらない。地域商社は、特定の地域に根ざし、その地域の資源を活用して商品やサービスを開発・販売する事業体とされている。「稼ぐ」ための地域商	

<p>5. おわりにについて</p>	<p>社との連携について伺う。</p> <p>次の世代に誇れる福津市を引き継ぐために覚悟を持って取り組むとあるが、次の世代に誇れる福津市とはどのようなものか伺う。</p>	
<p>6. 予算編成方針について</p>	<p>① 業務の効率化の推進とある。デジタルトランスフォーメーションの推進を図ることで、業務の効率化や市民の利便性の向上につなげていくことは必要かもしれないが、デジタルに馴染みが薄い市民や電磁波過敏症の市民等についてはどう対応するのか。</p> <p>② 新たな財源の確保とある。有形・無形の資産の有効活用を推進するとあるが、活用方法について伺う。</p> <p>③ 補助費等の見直しとあるが、見直し方法及び市民への説明責任について伺う。</p> <p>④ 基金総額の確保では、現有する債券については、現時点では満期保有を原則とし、基金総額の確保を図るとしているが、基金の目標額について伺う。</p> <p>⑤ 基金の取り崩しが制限される中で、福祉や教育等、市民生活に及ぼす影響はどう考えているか。</p> <p>⑥ 厳しい財政状況の要因の一端として基金問題があるが、市民への説明責任は果たしているか。</p>	